

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	火災予防活動経費			所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					●
事業対象	町民、事業所	目的	住宅防火対策の推進及び各種事業所との協力による防火体制の確保。		
事業概要	町民等の防火思想の普及啓発を図るとともに、住宅用火災警報器の全戸設置や高齢者死傷事故防止対策の推進など、住宅防火対策や、町内の事業所や危険物施設に対する消防法令の遵守指導を行う。				

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0001	火災予防活動経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込		R 4 事業費
	直接事業費	105		50		181		
	概算人件費	1,744		2,085		2,085		
	トータルコスト	1,849		2,135		2,266		0
	国庫/県支出金	0		0		0		
	その他	0		0		0		
R 2 概算人件費	正規職員			0.47 人		2,085 千円		
	再任用職員			0 人		0 千円		
	会計年度任用職員			0 人		0 千円		
	その他			0 人		0 千円		
	合計					2,085 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 住宅防火出前講座と事業所連携の防火講習開催数（回）	10	10	1	10	10
② 各種事業所担当者の防火研修派遣者数（人）	5	3	0	0	5

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 感染症の影響により研修は中止、住宅防火出前講座開催は1回となったが、新たに小中学校へ防火啓発DVD視聴の機会を設けた。今後も住宅防火DVDの貸出や未就学児花火教室等の啓発活動を実施する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	消防職員教育推進事業（一般経費）			所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					●
事業対象	職員	目的	消防の専門的知識と技術を習得した職員を効率的に配置するために教育派遣及び各種資機材取扱い資格の取得に関する計画を元にした教育を行う。		
事業概要	職員の諸手当、旅費、負担金その他被服等を管理し、円滑な業務運営を図る。				

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0003	一般経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込		R 4 事業費
	直接事業費	463		488		826		
	概算人件費	1,717		771		771		
	トータルコスト	2,180		1,259		1,597		0
国庫/県支出金		0		0		0		
その他		90		0		0		
R 2 概算人件費	正規職員			0.17 人		771 千円		
	再任用職員			0 人		0 千円		
	会計年度任用職員			0 人		0 千円		
	その他			0 人		0 千円		
	合計					771 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 計画による教育・資格取得者数（人）	8	7	5	11	13
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 感染症影響下、新採用職員の救急科教育と警備隊職員の救助資機材取扱い資格取得者の養成を行い消防力の向上に努めた。今後も消防職員教育計画に基づき教育派遣を実施し町民サービスの向上を目指す。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	応急手当普及活動経費			所管課	消防署
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					●
事業対象	町民・事業所	目的	町民や事業関係者に応急手当の普及啓発活動を図り、正しい応急手当や救命処置の正しい知識や技術を習得させる。		
事業概要	町民に講習を実施するとともに、小中学生への普及による応急手当講習受講者の底辺拡大を目指す。				

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0004	応急手当普及活動経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込		R4事業費
	直接事業費	115		28		141		
	概算人件費	1,184		1,100		1,100		
	トータルコスト	1,299		1,128		1,241		0
	国庫/県支出金	0		0		0		
	その他	0		0		0		
R2概算人件費	正規職員	0.23人		1,100千円				
	再任用職員	0人		0千円				
	会計年度任用職員	0人		0千円				
	その他	0人		0千円				
	合計			1,100千円				

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 小中学生の応急手当講習等の受講者数（人）	200	205	コロナに伴い中止	30	250
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 新型コロナウイルス感染症の影響により講習は未開催であったが、Eラーニングや感染防止策を徹底した受講形態の準備を行った。今後、新たな講習方式に小学生を対象とした短時間講習の開催を実施する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	警防活動経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	●
事業対象	職員、事業所	目的	消防活動に必要な組織運用規定の運用と訓練設備の整備、事業所との連携を図り大規模災害や特殊災害等への対応強化を図る。			
事業概要	消防活動に必要な施設や設備の保守・維持の管理を充実して災害に備える。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0005 警防活動経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	485		507		3,718
	概算人件費	1,259		2,428		2,428
	トータルコスト	1,744		2,935		6,146
						0
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 2 概算人件費	正規職員	0.53 人		2,428 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			2,428 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 消防組織計画の改訂	-	改訂	運用	運用	運用
② 事業所との資機材供給や活動に関する協定締結数	0	0	1	0	2
③ 津波避難誘導活動マニュアルの策定と運用	-	一部運用	一部運用	運用	運用

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	□	■	□
成果・課題等	災害活動に必要な規定運用と必要な改訂を行い適切な部隊運用に努めている。林野火災等を想定した消防水利提供に関する協定を民間事業所と締結した。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	緊急消防援助隊活動経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	職員	目的	緊急消防援助隊における活動維持と受援時の活動を円滑に行う。			
事業概要	国内で発生した大規模災害等に際して出動要請があった場合、当町が緊急消防援助隊として被災地に出動し、活動するために必要な経費。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	0007 緊急消防援助隊活動経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	27		89		267
	概算人件費	726		2,288		2,288
	トータルコスト	753		2,377		2,555
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.55人		2,288千円		
	再任用職員	0人		0千円		
	会計年度任用職員	0人		0千円		
	その他	0人		0千円		
	合計			2,288千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 消防受援訓練実施回数（回）	1	0	0（計画改定）	1	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 国及び県内からの消防応援に対応する受援計画に改定をした。次年度以降に新計画に基づく訓練を実施する予定である。また、当町（受援側）の受援体制（宿营地等）確立について更なる検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	救急救助活動経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民、職員、事業所	目的	救急全般及び救助における安定した業務及び充実強化を図る。			
事業概要	各種災害に対する適切な救急救助活動のため、資機材の整備・メンテナンスを行うとともに、局所的集中豪雨及び震災対応資機材の充実強化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0008 救急救助活動経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	6,057	21,292	9,279		
	概算人件費	2,971	5,400	5,400		
	トータルコスト	9,028	26,692	14,679	0	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R 2 概算人件費	正規職員	1.35 人		5,400 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			5,400 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 救急体制確保のために連携する高齢者福祉施設数（施設）	1	1	0	1	1
② 破壊家屋救助資機材、水難救助資機材の整備数	4	4	1	2	2
③ 救助マニュアルの整備数	3	10	60	1	0

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等					
成果・課題等	継続的に安定した救急サービス、更なる救急隊の質の向上が求められている。また、社会情勢の変化による救助事案に対応していくことが求められている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	消防車両管理経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	車両及び装備品の法令点検や修繕を行い消防業務の維持を図る。			
事業概要	各種災害に対して適切な消防活動を確保するため、消防車両及び装備品を万全な状態で維持管理し、消防・救急体制の充実を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0009 消防車両管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	5,946		3,984		3,610
	概算人件費	2,494		2,777		2,777
	トータルコスト	8,440		6,761		6,387
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.68人		2,777千円		
	再任用職員	0人		0千円		
	会計年度任用職員	0人		0千円		
	その他	0人		0千円		
	合計			2,777千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 迅速な災害・救急対応が業務の第1歩であることを考慮すると、事業に対する目的は達成をしている。ただ、一人ひとりの車両等に対する知識不足が顕著に認められ、安定維持のためにも教育が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	消防・救急車両更新事業			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	最新の車両・資機材の導入して機能強化を図り、多様化する消防救急需要に対応する。			
事業概要	消防力を維持するために計画的に車両更新を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0010 高規格救急自動車購入事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
						R 4 事業費
	直接事業費	33,506		0		0
	概算人件費	792		2,466		2,466
	トータルコスト	34,298		2,466		2,466
	国庫/県支出金	23,278		0		0
	その他	0		0		0
R 2 概算人件費	正規職員			0.58 人		2,466 千円
	再任用職員			0 人		0 千円
	会計年度任用職員			0 人		0 千円
	その他			0 人		0 千円
	合計					2,466 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 車両更新整備台数（台）	1	1	0	1	0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 特殊車両のため一般的に高額であることから、財政状況との関連を考慮し関係部署と調整して、計画的に事業を進め、万全の消防・救急体制の維持を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	消防団運営経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団・事業所	目的	消防団員として長期間活躍できる環境整備と昼間災害や大規模災害時の活動をサポートする機能別消防団員制度を確立する。			
事業概要	災害に備え、条例及び規則に定める消防団を運営管理するための経費。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業 0001 消防団運営経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	17,601		15,461		19,454
	概算人件費	493		916		916
	トータルコスト	18,094		16,377		20,370
	国庫/県支出金	70		120		71
	その他	2,025		3,712		3,214
R2概算人件費	正規職員			0.2人		916千円
	再任用職員			0人		0千円
	会計年度任用職員			0人		0千円
	その他			0人		0千円
	合計					916千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 団員確保に関する各制度の実績数	1	1	2	2	2
② 機能別消防団員制度の検討と運用	-	検討	検討	検討	運用

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 年額報酬の改定など団員確保に向けた制度の拡充と二宮町全体の消防力向上のために必要な消防本部と消防団の連携強化を図っている。今後も消防団員の処遇改善と消防団活動の充実強化が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	分団消防車両管理経費			所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					●
事業対象	消防団	目的	消防団車両の維持管理と幅広い災害へ対応するために車両及び資機材の一律配備を見直し再整備を検討する。		
事業概要	消防団車両の整備及び装備品の強化を図り、出動体制の万全を図る。				

事業予算									
会計	01	款項目	08	01	02	大事業	0002	分団消防車両管理経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込		R4事業費	
	直接事業費	1,676		1,116		2,347			
	概算人件費	724		1,431		1,431			
	トータルコスト	2,400		2,547		3,778		0	
	国庫/県支出金	0		0		0			
	その他	0		0		0			
R2概算人件費	正規職員	0.32人		1,431千円					
	再任用職員	0人		0千円					
	会計年度任用職員	0人		0千円					
	その他	0人		0千円					
	合計			1,431千円					

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 車両・資機材の再整備数	0	1	1	0	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 車両更新計画により順次車両及び資機材等の更新を実施して、大規模災害に対応でき得る消防力の維持に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	分団施設維持管理経費 ※			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団	目的	消防団詰所の維持管理と修繕・改修計画の検討をする。			
事業概要	消防団の活動拠点である分団詰所を適切に管理し、消防団員の活動環境の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業 0003 分団施設維持管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	745		843		899
	概算人件費	459		427		427
	トータルコスト	1,204		1,270		1,326
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	1		3		3
R 2 概算人件費	正規職員	0.09 人		427 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			427 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 消防団が安全に活動できる詰所の更新や改修等を各種計画に準じて実施する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	消防庁舎維持管理経費 ※			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員	目的	消防庁舎の維持管理と修繕・改修計画の検討をする。			
事業概要	消防庁舎の環境を整備し、作業能率の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0002 消防庁舎維持管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	6,649	9,619	6,027		
	概算人件費	1,125	943	943		
	トータルコスト	7,774	10,562	6,970	0	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R 2 概算人件費	正規職員	0.23 人		943 千円		
	再任用職員	0.05 人		76 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,019 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	□	■	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 消防庁舎現況調査を実施した。各種計画や調査結果を基に必要な修繕を行うとともに、庁舎のあり方について内部検討会を発足させるなど、多方面から検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	消防広域化への取組み(消防救急無線広域化・共同化等整備事業)			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員・近隣市町	目的	消防広域化の検討と消防共同指令センターの整備・運用を適切に行い連携強化を図る。			
事業概要	消防通信指令業務の高度化と行政財政の効率化を図ることを目的に、無線機器や指令システム等の整備及び維持管理を共同で行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0006 消防無線広域化・共同化等整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	12,470		13,630		15,191
	概算人件費	942		576		576
	トータルコスト	13,412		14,206		15,767
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 2 概算人件費	正規職員	0.12 人		576 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			576 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 広域化及び連携強化に関する会議・検討会の開催数（回）	3	6	5	3	3
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 広域連携の推進	3.83	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 共同消防指令センターの円滑運営に関する会議等が開催されている。消防の連携強化のためには必要不可欠であり、今後も部分更新（R3・4）等を含め意見共有が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			